

玉村町産大麦使用



麦ストロー

たまむら麦ストロープロジェクト

サステイナブルな麦ストロー

玉村町は、群馬県内有数の麦の産地です。「麦秋の郷」と呼ばれています。

麦ストローは、玉村産大麦を使用し町内の学校給食センター、小中学校、障害者福祉センターの協力で制作されました。自然素材を活かした協働による持続可能なアイテムです。



プロジェクト代表：たまむら食の探検隊
麦ストロー制作協力：玉村町教育委員会／玉村町学校給食センター／JOY クラブ／玉村町障害者福祉センターたんぼぼ／株式会社ミーツ

制作者：麦ストロー実行委員会
問合せ：群馬県佐波郡玉村町大字下新田 208-4
玉村町住民活動サポートセンターぱる
電話 0270-65-7155
メール pal@kyoudou-tamamura.org

※このチラシは、令和3年度玉村町協働によるまちづくり提案事業の補助金を活用し制作したものです。



たまむら麦ストロープロジェクト

たまむら食の探検隊

玉村町は、比較的温暖な気候と日照に恵まれ農業に適した土地です。米麦の二毛作をはじめ、ビニールハウスや露地による野菜栽培も盛んです。ナス、キュウリ、トマト、春菊、ブロッコリー、イチゴ、ネギなど多くの野菜が1年を通じて栽培されています。こうした玉村町産の野菜の良さを周知するために、「たまむら食の探検隊」が設立されました。

農家の畑で野菜を自らの手で収穫し、農家の方から栽培についての話を聞くとそこに生産者と消費者の交流が生まれます。さらに、その野菜を使った料理を食べることにより、玉村産野菜への理解につながります。

たまむら食の探検隊は、自ら麦刈りを行うなど「麦ストロープロジェクト」の企画・実施に大きな役割を果たしています。



小中学校給食委員会

麦ストロープロジェクトでは、食育の一環として小中学校の委員で大麦のカットを体験しました。また、給食の時間には全校で麦ストローを使用することができました。地域の農業を知り、環境問題を考えるよい機会となりました。



玉村町学校給食センター

町内唯一の学校給食センターでは、安心・安全な給食を提供と児童生徒への食育を行っています。麦ストロープロジェクトでは、夏休みを利用して麦の洗浄・消毒を行いました。また、10月の「学校給食ぐんまの日」に併せ、給食で麦ストローを提供しました。



地域でとれる食材や食文化について知らせることができました。毎日の給食や給食センターの取組みはホームページでも紹介しています。

JOY クラブ

子どもの居場所として、学習支援やこども食堂、食料支援などの活動をしています。環境学習で麦ストローのカット作業を体験しました。



玉村町障害者福祉センターたんぽぽ

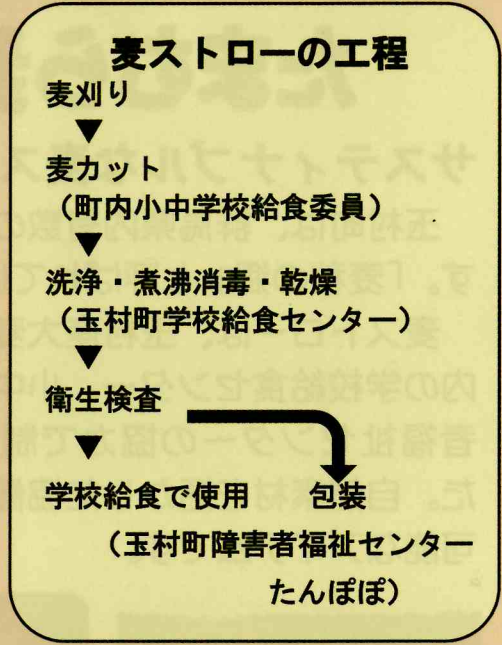
玉村町障害者福祉センターたんぽぽは、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進しています。通所による利用者に生産活動の機会を提供しています。



麦ストロープロジェクトでは、包装作業を行い、就労の機会と収益事業活動になっています。



動画で紹介
しています



たまむら食の探検隊



玉村町学校給食センター